



女性が作る千個の玉結びは、
「弾止」になると考えられ、兵士
に贈られました。また、縫い付
けられた「5 銭」は「死線」を
越えるに掛けています。

千人針



戦争を勝ち抜くため、大蔵省
が国民の貯蓄と増産を勧める目
的で制作したスライド「縫う手
炊く手に勝ちぬく心」を映し出
すための機械です。

幻灯機
(スライド映写機)



26 歳の若さで戦場に散った
オリンピック「鈴木 間多」が、
1936 年のオリンピック大会（ベ
ルリン）で使用していたものです。

鈴木間多の
スパイク



馬に関する情報は軍事機密と
して扱われました。村落が保有
する頭数、または軍馬への転用
の可否など、重要な情報として
記録されました。

旧丸村役場
文書

注目

展示紹介

町内の方がお持ちの貴重な資料や、役場で保管されていた
文書など、約50点を展示しました。



映画で見たものと同じようなものがあり、すごく泣きたくなくなっ
てしまいました。近くの小学校の慰霊碑は、この方々のためにあっ
たのだと感じました。広島や長崎の平和資料館へ行き、さらに
戦争について学んでいきたいです。



鈴木間多さんのことは初めて知りました。ご遺族が提供してくだ
さったスパイクやメダルを見て、ご両親の心境はいかばかりであ
ったかと思いました。貴重な資料の展示は、戦争のことを考える
いい機会になりました。



戦時中はそれぞれ村内一丸となって、戦っていた国を守る為に皆
必死になっていました。私の父も、シベリア抑留の寒さと飢え、
重労働に死にそうになりながらも帰国できました。今、他国から
の侵略を受けたらどうなるのだろう？戦争が起こりませんように。

来場者からの
コメント



幹部候補生訓練に参加する戦没オリンピック 鈴木 間多さん（昭和 14 年 1 月撮影）

戦後 80 年 企画 川島の戦争展

「資料が語る人々の暮らし」



8 月 11 日（祝・月）～ 17 日（日）に、戦後 80 年企画「川
島の戦争展」を開催し、718 人にご来場いただきました。
会場では、出征者を記録した『川島村戦士録』を手に
取り、亡くなられたご家族をしのぶ姿が見られました。
今回の企画展では、来場者の皆さんに戦争の悲惨さと
平和の尊さについて考えていただく機会になったと思い
ます。町では今後も戦争に関する資料の収集を継続して
いきますので、引き続きご協力をお願いします。



軍事演習に参加する旧制中学校の生徒たち（昭和 13 年 11 月 16、17 日撮影）